

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム 鶴沼の里	ユニット名	A棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成21年8月31日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	まだありません
------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年11月17日	評価確定日	平成22年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日中庭に出て、リハビリ体操を行ったり、鶴沼公園を散策したりして多くの自然に触れ合い、生活している。 農家から無農薬野菜やシイタケやを買い付けたり、有機卵を買って配達してもらっている。 ホームは家庭での生活の延長なので、一人ひとりを大切に居心地良く暖かいケアをモットーにして対応している。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

共用空間や廊下など建物全体が広々としており、ゆったりした生活のリズムが感じられる。 3ユニットは介護度の高い利用者のユニットや介護度の低い利用者のユニットに分かれているため、職員はユニットごとの特徴を把握し利用者に合わせた食事や外出支援をしている。 介護度が低いユニットは馴染みの人の来訪が多い。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念の一つに「個別的ケア、生活の回復を目指す」の通り、一人ひとりを大切にするケアに努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、管理者と職員はその理念を共有するとともに実践に努めている。 理念を事務所の一角に小さく掲示している。	理念は職員や来訪者の見やすい場所に掲示することが望まれる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会に参加したり、散歩時は挨拶も交わしている。行事では、ボランティアさんなども来訪している。	利用者が小学校の運動会に参加したり、地域の人々が事業所のイベントに参加するほか、芸能ボランティアも来訪するなど、職員は利用者が地域の人々と交流できるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	鶴沼新聞をつくり、行っている事を理解して頂く為、定期的に発行し、配布していきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を行って、話し合いをおこない、そこで話し合ったことはサービスに反映している。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、区長、民生委員、事業所職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では行事予定や事業所からの報告をするとともに、委員や利用者から出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方に関しては、定期的に社会福祉課の方が調査に来て下さるので、情報は伝えている。月1回介護相談員が来訪し、空き状況の確認・入居者様の要望など協力し、質の高いサービスの向上に努めている。	市担当者が定期的に来訪し情報交換をしたり事業所の要望等を相談するほか、介護相談員を受け入れるなど、事業所は市と協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	業務上やむを得ず、けがをしたりする危険性のある方に関しては、身体拘束の書類を一筆書いて頂き、拘束させて頂いている。	緊急やむを得ない場合は家族等に説明し、承諾書を書いてもらい身体拘束を行うこととしているが、エプロンで車椅子に拘束したり、ベッドに柵を取り付けたり、ミトンを使用するなどの身体拘束が日常的に行われている。	勉強会を実施し全職員が身体拘束の弊害を認識するとともに、身体拘束をしないケアの実践に取り組むことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルをつくり、話し合いを行い、虐待のないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要であると思われる利用者、ご家族には説明し話し合い、活用できるようにしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	最初にきちんと契約書、重要事項説明書等十分理解できるよう、説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情設置箱を用意し、外部から来られた方にも書いて頂き、運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置するほか、月1回の家族等の訪問時に意見等を聴いている。 利用者からは運営推進会議で意見等を聴いたり、月1回介護相談員の来訪時を意見交換日とし、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回全体ミーティングを開いて意見や提案を聞く機会を設けている。	施設長は月1回主任会議や全体会議で職員の提案を聴いたり意見交換をする機会を設け、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	特別な事情がない限り、異動は最小限にし、利用者様が安心してできる様努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	おむつ交換の仕方を業者さんに依頼し、教わったり、薬の副作用について等メーカーさんに講義をして頂いたりしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	土浦市地域密着型サービス連絡会に参加しており、2ヶ月に1回連絡会があり、良い方法を検討している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に、生活歴の中で本人の好きな食べ物好み等を把握して不安にならないよう対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時に困っていることや不安なことを聞き安心して生活できるよう対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や、ご家族と共に納得のいくサービスをスタッフと共に考え対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を築き、共に学び共に成長していけるよう対応している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様と共に、本人の気持ちを尊重し、支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までの暮らしを大切にした生活を支援している。	職員は利用者の友人や知人が面会に訪れた時は家族等と同じ様に温かく迎え、関係が途切れないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士穏やかに、生活していける様職員が間に入りアドバイスしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続はしていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は毎日一緒に過ごしている中で利用者の思いや願等把握するよう、努めている。	職員は「その人にとっての安心・快さ」を介護の基本とし、利用者と一緒に生活する中で優しい言葉かけに努め、利用者の希望や意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にアセスメントし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの人格を尊重しながら、その人に応じた対応に気を使っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者がより良く暮らせる様、本人や家族、必要な関係者と話し合った意見等を介護計画作成に生かしている。	利用者や家族等と話し合い現状に即した支援をしているが、6ヶ月に1回の介護計画の見直しは遅れがちである。	介護計画は設定期間ごとに見直すとともに、心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直すことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に記載し、介護計画の見直しに活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	年間行事の中で外出や月々の誕生者がいる月は、外食したりドライブに出掛ける。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のボランティアさん等に行事の時などに協力を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院、月1回の往診医、週1回の看護師もいるので、心配はない。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 協力医療機関から月1回の往診があるほか週1回看護師が来訪し、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族様の意向を確認し、行っている。	看取りに関する指針を作成するとともに家族等の意向を確認し方針を共有しているが、全職員が方針を共有するまでには至っていない。	終末期に向けた事業所の方針を全職員で共有することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っていないが、救命訓練等の研修は消防署より受講している。H20年5月21日普通救命講習会を実施、家族の方も1名参加される。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に1回消防署の指導により避難訓練を実施、消防署との直通電話を設置している。	年1回消防署立会いのもと避難訓練を実施するとともに、運営推進会議で地域住民の協力が得られるよう働きかけているが、参加を得られるまでには至っていない。 災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄するまでには至っていない。	災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	支援している。	職員は利用者のプライバシーや誇りを損ねないよう言葉かけに留意するとともに、持病がある利用者への言葉かけにも配慮している。 個人情報の書類等は所定の場所に保管し情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人に合ったペースを大切にして希望に合った生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度の割でカットして頂いている。又、本人の望む店にも行けるよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みに配慮しながら、又季節の材料を使い季節や行事食も入れながら、楽しい食事になるよう努めている。	利用者は体調を見ながら食事の準備や後片付けを担っている。 職員は利用者の好みや食べられない食材に配慮するとともに、季節食や行事食を取り入れている。 利用者と職員が一緒に会話をしながら楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量を把握し、その人に応じた支援をしている。一人はペースト食で、もう一人は糖尿病の為、薄目の味つけにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口腔の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的に時間を決めて排泄を促している。一人ひとり排泄パターンをつかみ対応している。	職員は排泄パターンを把握し時間を見計らって排泄を促すなど、利用者一人ひとりの状態にそって排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排泄のチェック表等により、把握し、気持ち良くできる排泄できるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の体調に配慮し、希望やタイミングに合わせて楽しんで、入浴できるよう支援している。	入浴日は決まっているが、利用者の希望やタイミング、体調に配慮した入浴支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後昼寝の時間を設け、(1時間)あまり長くなく配慮している。夜間安眠できる様に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬について把握し、理解し、服薬の支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し、食器拭き等手伝って頂き、生活に変化を感じて頂いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、できるだけ外出するよう、又、多くの人に参加できるよう声かけを行っている。	利用者は天気の良い日は外で食事をしたり、希望により外泊をしている。 職員はできるだけ多くの利用者が外出するように声かけ支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の際、なんでもそろそろ100円均一での買い物を楽しむ。自分で管理はできないので、その場のみ、お金を支払ってもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の声が聞きたいという要望があれば、こちらで対応する。手紙を書きたいという方に関しては援助している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に過ごしやすい様に、配慮している。（例えば遮光カーテン）音には常に職員が気を配っている。	居間は窓が多く広々と外景が見渡せるようになっている。 職員は手作りの壁掛けや花を飾り、季節や生活が感じられるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが思い思いにゆったりと過ごして頂けるように、している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は住み心地の良い部屋にし、好きな写真や、や自分で書いた絵を貼ったりし居心地の良いようにしている。	使い慣れた物品が溢れている居室やきちんと片付いている居室、好きな写真や自分で書いた絵を飾っている居室など様々であるが、職員は利用者一人ひとりが居心地良く暮らせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	庭でレクリエーションをしたり、散歩したり草花を摘んだり、楽しめるよう工夫している		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム鶴沼の里

作成日 平成22年3月1日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念を事務所の一角に小さく掲示している	理念を大きく見やすい所に掲示する	理念を大きく見やすい所に掲示し、職員全体で共有する	2ヶ月（H22年3月～4月）
2	6	日常的に身体拘束が行われている	少しでも拘束が解除され、拘束が無くなるようにする	必要最低限やむを得ない場合を除いては、拘束しないように、入居者様の身体状況を会議し、検討していく。又、勉強会も同時に開いていくようにする。	6ヶ月（H22年3月～H22年9月）
3	26	ケアプランが遅れがちである	ケアプラン・アセスメント・モニタリングは設定期間にきちんと作成する	ケアプラン・アセスメント・モニタリングは設定期間ごとに見直し、心身状況が変化した入居者様に関してはその都度、それに則って作成する。	6ヶ月（H22年3月～H22年9月）
4	33	終末期に向けた方針を全職員が共有していない	終末期に向けた事業所の方針を全職員で共有する	終末期に向けた方針をカンファレンス時に話したりしながら、全職員で共有していく	6ヶ月（H22年3月～H22年9月）
5	35	災害時に備えて、食糧や飲料水を備蓄するまでに至っていない	災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄する	本社と連携し、災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄できるようにする	6ヶ月（H22年3月～H22年9月）

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2）項目数が足りない場合は、行を追加すること。